

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成28年2月4日 (2016.2.4)

【公開番号】特開2015-227462(P2015-227462A)

【公開日】平成27年12月17日 (2015.12.17)

【年通号数】公開・登録公報2015-079

【出願番号】特願2015-140981(P2015-140981)

【国際特許分類】

C 0 8 G 73/06 (2006.01)

G 0 2 B 1/04 (2006.01)

G 0 2 B 5/20 (2006.01)

【 F I 】

C 0 8 G 73/06

G 0 2 B 1/04

G 0 2 B 5/20 1 0 1

【手続補正書】

【提出日】平成27年12月8日 (2015.12.8)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

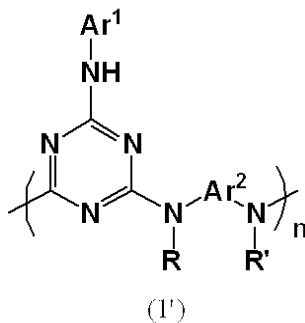
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

下記式 (1') で表されるトリアジン環含有重合体。

【化 1】

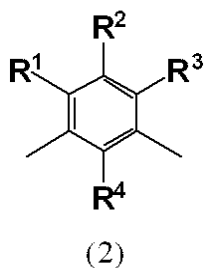


{ 式中、R および R' は、互いに独立して、水素原子、アルキル基、アルコキシ基、アリール基、またはアラルキル基を表し、

Ar¹ は、アリール基を示し、

Ar² は、式 (2) で示される基を表す。

【化 2】

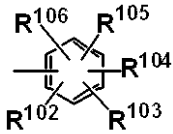


〔式中、 $R^1 \sim R^4$ は、互いに独立して、水素原子、ハロゲン原子、カルボキシル基、スルホン基、炭素数 1 ～ 10 の分岐構造を有していてもよいアルキル基、または炭素数 1 ～ 10 の分岐構造を有していてもよいアルコキシ基を表す。〕〕

【請求項 2】

前記  $Ar^1$  が、式 (15) で表される請求項 1 記載のトリアジン環含有重合体。

【化 3】



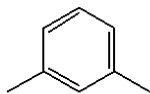
(15)

(式中、 $R^{102} \sim R^{106}$ は、互いに独立して、水素原子、ハロゲン原子、カルボキシル基、スルホン基、炭素数 1 ～ 10 の分岐構造を有していてもよいアルキル基、または炭素数 1 ～ 10 の分岐構造を有していてもよいアルコキシ基を表す。)

【請求項 3】

前記  $Ar^2$  が、下記式で表される請求項 1 または 2 記載のトリアジン環含有重合体。

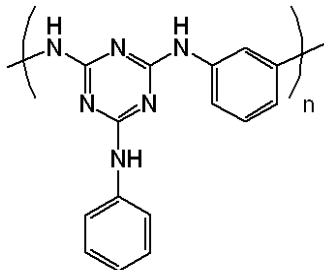
【化 4】



【請求項 4】

式 (16) で表される請求項 1 ～ 3 のいずれか 1 項記載のトリアジン環含有重合体。

【化 5】



(16)

【請求項 5】

重量平均分子量が、500 ～ 100,000 である請求項 1 ～ 4 のいずれか 1 項記載のトリアジン環含有重合体。

【請求項 6】

請求項 1 ～ 5 のいずれか 1 項記載のトリアジン環含有重合体からなる高屈折率材料。

【請求項 7】

請求項 6 記載の高屈折率材料を含む高屈折率膜形成用組成物。

【請求項 8】

請求項 6 記載の高屈折率材料を含む高屈折率膜。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

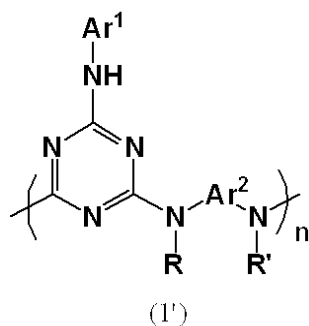
【補正の内容】

【0010】

すなわち、本発明は、

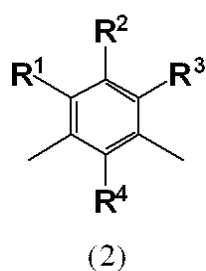
1. 下記式 (1') で表されるトリアジン環含有重合体、

## 【化 1】



{ 式中、R および R' は、互いに独立して、水素原子、アルキル基、アルコキシ基、アリール基、またはアラルキル基を表し、Ar¹は、アリール基を示し、Ar²は、式(2)で示される基を表す。}

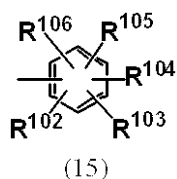
## 【化 2】



{ 式中、R¹～R⁴は、互いに独立して、水素原子、ハロゲン原子、カルボキシル基、スルホン基、炭素数 1～10 の分岐構造を有していてもよいアルキル基、または炭素数 1～10 の分岐構造を有していてもよいアルコキシ基を表す。} }

2. 前記 Ar¹が、式(15)で表される 1 のトリアジン環含有重合体、

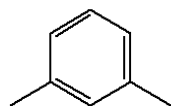
## 【化 3】



( 式中、R¹⁰²～R¹⁰⁶は、互いに独立して、水素原子、ハロゲン原子、カルボキシル基、スルホン基、炭素数 1～10 の分岐構造を有していてもよいアルキル基、または炭素数 1～10 の分岐構造を有していてもよいアルコキシ基を表す。 )

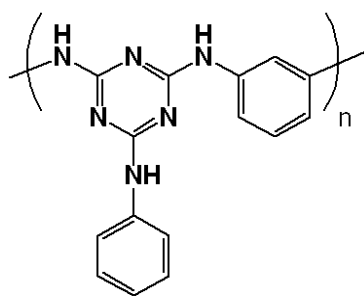
3. 前記 Ar²が、下記式で表される 1 または 2 のトリアジン環含有重合体、

## 【化 4】



4. 式(16)で表される 1～3 のいずれかのトリアジン環含有重合体、

【化 5】



(16)

- 5 . 重量平均分子量が、500～100,000である1～4のいずれかのトリアジン環含有重合体、
- 6 . 1～5のいずれかのトリアジン環含有重合体からなる高屈折率材料、
- 7 . 6の高屈折率材料を含む高屈折率膜形成用組成物、
- 8 . 6の高屈折率材料を含む高屈折率膜を提供する。